

## 守谷市まち・ひと・しごと創生総合戦略推進会議の結果について

### [守谷市まち・ひと・しごと創生総合戦略推進会議とは]

地方版まち・ひと・しごと創生総合戦略の策定・推進・評価に当たって、様々な分野の人材から構成される有識者会議を設置することとなっており、守谷市も「守谷市まち・ひと・しごと創生総合戦略推進会議設置要綱」に基づき会議を設置しています。会議構成員は、下記のとおりです。

NO	区分	団体等	NO	区分	団体等
1	産	守谷市産業地域協力会	6	労	関東鉄道株式会社 労働組合
2		守谷市商工会 青年部	7		厚生労働省 茨城労働局 ハローワーク常総
3		茨城みなみ農業協同組合	8	市民	元 PTA 連絡協議会
4	学	筑波大学	9		子育てサークル
5	金	常陽銀行	10	官	地方創生コンシュルジュ
			11		茨城県

令和2年11月25日に会議を開催し、令和元年度の地方創生推進交付金対象の2事業について、次のような最終評価をいただきました。

- ① 農が繋ぐまち地域資源連携推進プロジェクトは、3年間の活動で評価をすると、地域資源連携としてかなり努力が伝わってくる。事業の評価指標としてKPIを設定しているが、行政の交付金がなくなった後に、地域連携が自律的に動くのか、効果が出せるのか、が本当の評価となる。今回のプロジェクトで連携体制ができていれば、現状で数値として表れていなくとも、今後につながってくる。数値に出てきていない取組も整理をして、継続していくのが良いと思う。
- ② 野鳥の森散策路と鳥のみち協働推進プロジェクトは、TXの中吊り広告などによるものだけでなく、口コミで県外からの集客もある。観光ガイド育成が高齢世代となっている点については、市のシェアハウス事業に参加している学生の活用なども検討していただきたい。貴重な自然資源を生かしながら上手く活用していただくため、短期的に一喜一憂するのではなく、引き続き良い取り組みを続けていただきたい。